自由民主党　デジタル社会推進本部　防災DX関係政策提言（概要）

<現状>
○ 過去の本部提言で提起した**「防災デジタルプラットフォーム」は順調に進捗**し、防災DXの有用性も実災害での活用等を通じ明白となった。
○ 一方、**情報分野での官民連携**や、**場所からヒトへ災害対応が変化する中での課題**がその活用を阻害している。

<対策>
以下のような施策を推進し、防災DXの利活用を加速させる必要がある。

1.「防災デジタルプラットフォーム」の活用

・ＡＩ等先端技術を活用した支援機能の充実
・災害関連情報の標準化、オープン化の検討
・情報集約に有用なアプリ活用や周辺環境改善の検討等による官民連携の深化
・平時の訓練等を通じた普及啓発
・地下情報を含めたデータの整備・流通促進

2．避難者･被災者個人に寄り添った防災ＤＸの発展

・広域災害に対応した避難者・被災者支援DXの構築
・支援に有用な個人情報のデジタル化、集約
・情報の標準化、平時からの訓練活用

3．防災ＤＸの拡大するフロントライン

・医療、介護、法務等各分野でのDX推進
・電力、通信等の更なる強靭化